

報道関係各位

2018年10月15日

開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」が、エシカルコーポレーション主催のレスポンシブル・ビジネス・アワードで「イノベーション・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞

株式会社 LIXIL（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL）の開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」が、この度、英国エシカルコーポレーションが主催するレスポンシブル・ビジネス・アワードで、「イノベーション・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞しました。



レスポンシブル・ビジネス・アワードは、持続可能なビジネスの分野で主導的役割を果たす企業に贈られる国際的に権威ある賞で、本年は LIXIL に加え、ユニリーバやアストラゼネカ、キンバリー・クラークといったサステナビリティの先進企業が受賞しています。LIXIL が展開する SATO ブランドの製品が、世界の衛生課題の解決に向けて多くの人々の生活の向上に貢献してきた実績が認められ、今回の「イノベーション・オブ・ザ・イヤー賞」の受賞につながりました。

世界には、屋外や不衛生な汲み取り式トイレなどでの排泄により、たくさんの人びとが悪臭や伝染病の危険にさらされています。LIXIL は、世界中が危惧するこの問題の解決に向け、最前線で取り組んでいます。LIXIL が提供するソリューションの一つが、開発途上国向けトイレシステム「SATO」です。1回の洗浄に必要な水はごく少量で、排泄物を流すとカウンターウエイト式の弁が閉まり、悪臭や病原菌を媒介するハエなどの虫を防ぐ仕組みになっています。

「SATO」の開発において、LIXIL は、低価格でシンプルかつ持続的な独自のソリューションの開発を目指す「フルーガル・イノベーション」というアプローチを取り入れました。「SATO」の初代モデルは、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの資金助成を受けて開発が進められ、2013年にバングラデシュで販売を開始しています。これまで世界で180万台以上の SATO が出荷され、およそ900万人の衛生環境の改善に貢献しています。

株式会社 LIXIL 取締役 専務役員 Chief Public Affairs Officer 兼 Social Sanitation Initiatives 部管掌 Jin Song Montesano のコメント

「私たちは、世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現を目指しており、あらゆる商品の開発プロセスにおいて、生活者の視点に立ったデザインを取り入れています。世界では今でもおよそ3人に1人が安全で衛生的なトイレのない生活を送っています。そうした中、当社が SATO を通じて持続可能なソリューションを提供していることを大変誇りに思っています。この度、エシカルコーポレーション

のレスポンシブル・ビジネス・アワードを受賞したことはこの上ない喜びであり、世界中のすべての人びとの生活の質を向上させたいと願う LIXIL にとって、さらなる動機づけとなります」

LIXIL は、今月初頭の「2018 年度グッドデザイン賞」でグループの国内外ブランド 11 商品が受賞したほか、国際的なデザイン賞「レッド・ドット賞」や「iF DESIGN AWARD 2018」で複数の商品が選ばれるなど、生活者の視点に立った商品デザインへの評価を多数獲得しています。



■ LIXILについて

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在 70,000 人超の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXIL などのブランドを展開する、株式会社 LIXIL グループ (証券コード: 5938) は、2018 年 3 月期に 1 兆 6,648 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL について：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>